

## 保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ、無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
  - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
  - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛け等による故障及び損傷
  - (二) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
  - (ホ) 本書のご提示がない場合
  - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書きかえられた場合  
(但し、販売店シールや領収書でも未記入項目の代用となります)
  - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
  - (チ) 一般家庭用以外(例: 業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

商品名 コーヒーメーカー		★お買い上げ日： 年 月 日		
型番	COK-WK65A-K	品番	08-1267	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	フリガナ ★お名前 様			
	★ご住所 〒			電話 ( )
修理メモ				
販売店	★住所 店名 電話 <span style="float: right;">印</span>			

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

**OHM** 株式会社 オーム電機  
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8  
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006	048-992-2735
電話受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます



# コーヒーメーカー

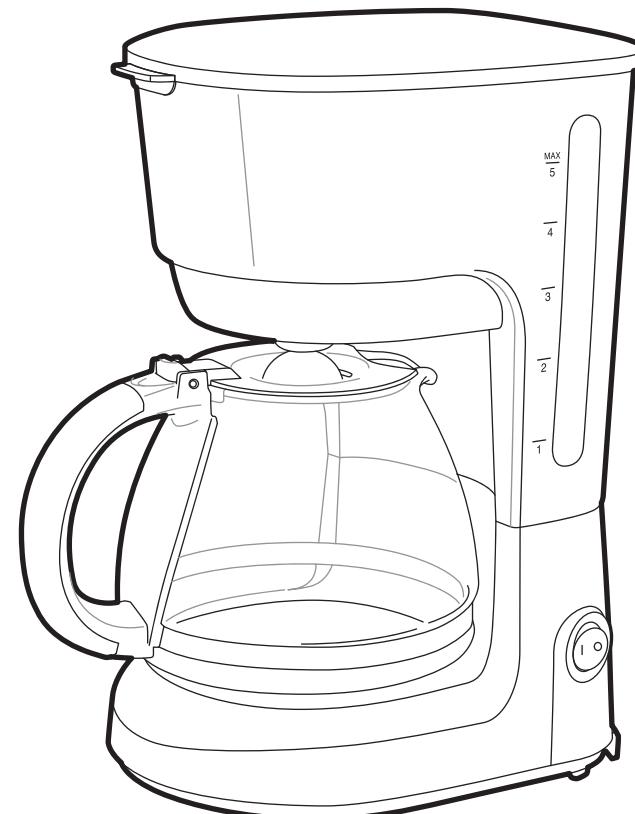
## 保証書付取扱説明書

型番：COK-WK65A-K 品番：08-1267

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用の前には必ずこの取扱説明書を最後までお読みになり、正しくお使いください。

この説明書は、ご使用になるお客様が大切に保管してください。



必ずお読みください

# 安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、  
記載事項をお守りいただき、正しくお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してください。

●表示について:表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。(下記は図記号の一部です)



## 禁止

この図記号は、してはいけない「禁止」内容です。



## 指示

この図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。



## 警告



必ず守る

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

湿気などで絶縁不良となり、火災や感電のおそれがあります。



電源プラグを抜く

お手入れのときは必ず電源を切り電源プラグを抜いてから行う。

けがや感電のおそれがあります。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く。

湿気などで絶縁不良となり、火災や感電のおそれがあります。



ぬれ手禁止

電源プラグはぬれた手で抜き差ししない。

感電事故の原因となることがあります。



分解禁止

お客様ご自身での分解、改造、修理はしない。

火災や感電、けがのおそれがあります。販売店または弊社お客様相談室までご相談ください。ご自身で分解、改造、修理を行った場合は保証の対象となりません。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。

感電やショートによる発火の原因となることがあります。

コーヒーメーカー本体を水につけたり、水にぬらしたりしない。

ショートしたり、感電するおそれがあります。

	<p>電源は、交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う。 交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と併用したり、延長コードを使用すると発熱による火災の原因になります。</p>		<p>直火(ガス台など)や電磁調理器(IHクッキングヒーター)、電気ヒーターの上のせない。 火災、誤作動、故障の原因になります。</p>
	<p>電源コードに重い物を載せたり、無理に折り曲げたり、束ねたり、引っ張ったりしない。 火災や感電のおそれがあります。</p>		<p>お子さまだけでのご使用や、お子さまの手の届く場所で使用しない。 けがややけど、感電のおそれがあります。</p>
	<p>本体を傾けたり、ゆすったり、ふたを持って移動しない。 湯が流れ出て、やけどのおそれがあります。</p>		<p>壁や家具などの近くでは使用しない。 蒸気や熱で壁や家具を傷めたり、変色、変形などの原因となることがあります。</p>
	<p>満水表示「目盛り5」以上の水を入れない。 やけど、感電、けがをするおそれがあります。</p>		<p>使用中や使用後しばらくは高温部に触れない。 やけどの原因になります。</p>

	<p>水平の安定した場所に設置する。 本体が倒れ、やけど、けがのおそれがあります。</p>		<p>使用中は、移動させない。 湯が流れ出たり、蒸気でやけどをするおそれがあります。</p>
	<p>電源コンセントの近く(コンセントの抜き差しやすい場所)に設置する。 火災や感電、故障のおそれがあります。</p>		<p>本製品を落としたり、強い衝撃や振動を与えない。 火災や故障のおそれがあります。</p>
	<p>使用中は本製品から離れない。 発火や故障のおそれがあります。</p>		<p>火気の近くや油のかかる場所で使用しない。 火災や感電のおそれがあります。</p>
	<p>お手入れは冷めてから行う。 感電ややけどのおそれがあります。</p>		<p>他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない。 蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。</p>
	<p>抽出中にガラス容器をはずさない。 やけどのおそれがあります。</p>		<p>フタを開けた状態では、使用しない。 湯が本体から飛び出し、やけどやけがのおそれがあります。</p>
	<p>ガラス容器を乗せたまま本体を動かさない。 ガラス容器が落下して破損し、けがをするおそれがあります。</p>		<p>家庭用なので業務用として使わない。</p>

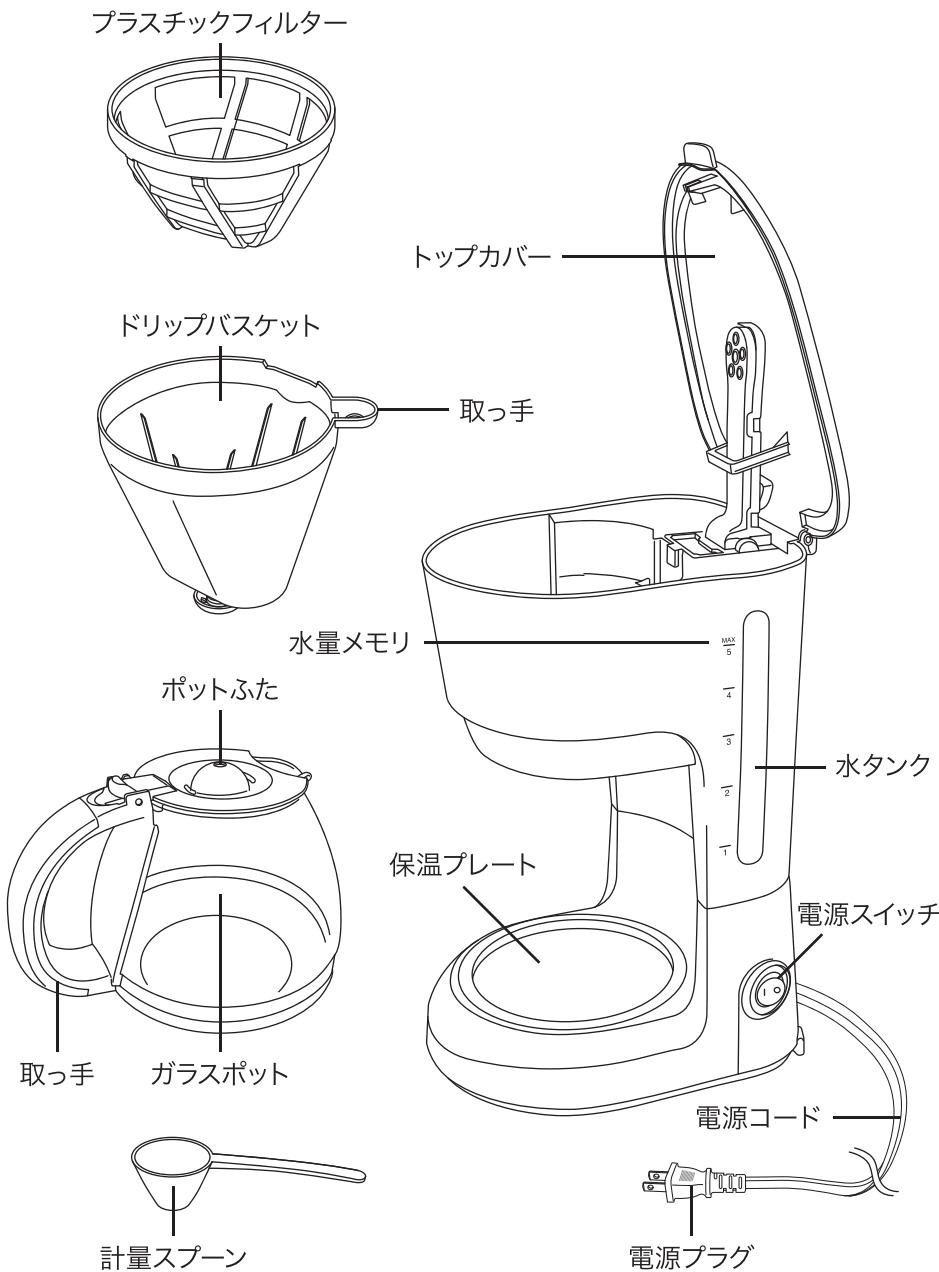
●水タンクに水以外のものを入れないでください。

●続けてコーヒーを作る場合は電源スイッチを「切」にして、各部が冷えたことを確認してから(目安10分以上)、ご使用ください。

●空だきはしないでください。

●ガラスポットが熱いうちに水の中に入れたり、水をかけたり、ぬれた場所に置かないでください。

## 各部の名称



## 使用方法

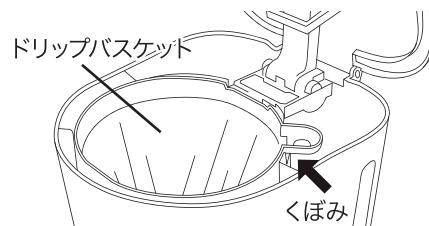
はじめてご使用になる前に、ガラスポット、ドリップバスケット、プラスチックフィルター、計量スプーンを柔らかいスポンジに台所用中性洗剤をつけてぬるま湯で洗い、水で十分にすすいでください。

本体内部を洗浄するために水だけで1~2回運転する。(P5参照)  
※本体は丸洗いできません。お手入れのしかたを参考ください。

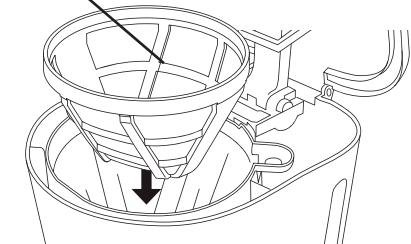
### 1.コーヒーを作る

- トップカバーを開けてドリップバスケット、プラスチックフィルターをセットする。

ドリップバスケットをセットする時はくぼみに取っ手を入れてください。



プラスチックフィルター



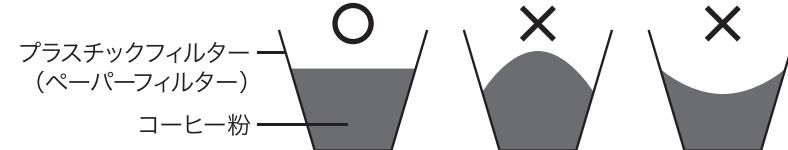
### 2.コーヒー粉を付属の計量スプーンで入れる

- コーヒー粉量は下表を目安にしてください。

※コーヒー粉量は好みにより加減してください。

※本機には中挽き粉が適しています。

- コーヒー粉は上面が平らになるように入れてください。



#### ■コーヒー粉量を入れる目安

コーヒーカップ数	コーヒー粉量	コーヒーカップ数	コーヒー粉量
1カップ	1杯(7g)	4カップ	4杯(28g)
2カップ	2杯(14g)	5カップ	5杯(35g)
3カップ	3杯(21g)		

※計量スプーンは山盛り1杯約7gです。

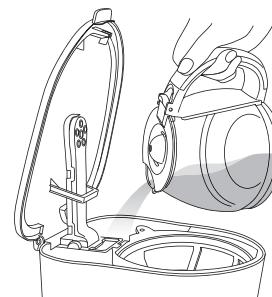
- ペーパーフィルターを使用される場合は、プラスチックフィルターを使用せずに、バスケットにペーパーフィルターを取り付けてください。(ペーパーフィルターは2~4カップまでご使用いただけます。)

## 使用方法(続き)

### 3.水タンクに水を入れる



- 水タンクの水量目盛り5を超える水を入れないでください。ガラスポットからコーヒーがあふれるおそれがあります。
- 水以外のものを入れないでください。故障の原因になります。
- 水タンクにはお湯を入れないでください。勢いよく多量の蒸気が出ます。



### 4.保温プレートにガラスポットをセットする

- トップカバーを閉じて、ガラスポットを保温プレートの上にセットしてください。  
※ガラスポットが正しくセットされていないと、ドリップバスケットからコーヒーがあふれるおそれがあります。

### 5.電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「入」にする

- 電源ランプが点灯して、コーヒーの抽出が始まります。

1カップ	2カップ	3カップ	4カップ	5カップ
約1分50秒	約2分50秒	約3分50秒	約4分50秒	約6分20秒

※できあがりの時間は、コーヒー粉量、水温、室温などによって変わります。



- 電源が入っているときは、トップカバーを絶対に開けないでください。また、手や顔を近づけたりしないでください。
- 抽出中はガラスポットを取り外さないでください。

#### 途中でやめるときは

- ①電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜く。
- ②各部が冷めてから水タンクに残っている水を捨てる。

### 6.スイッチを「切」にしてコーヒーを注ぐ

- ガラスポットは抽出が終わり、蒸気が止まってから取り外してください。

### 7.使用後は電源プラグをコンセントから抜く

## 使用方法(続き)

#### ●アイスコーヒーを作るとき

グラスの約8分目まで氷を入れてからコーヒーを注ぎ、かき混ぜて冷やします。

#### ●熱めのコーヒーをお好みのかたは

あらかじめ熱湯などで温めておいたカップに注ぎます。

#### ●コーヒーを保温するとき

電源スイッチを「入」にしたまま、ガラスポットを保温プレートにセットしてください。正しくセットしないと保温温度が低くなることがあります。

コーヒーは長時間保温しますと風味が損なわれますので、保温する時間はなるべく短くし早めにお飲みください。

#### ●連続してコーヒーを作るとき

電源スイッチを「切」にして、各部が冷えたことを確認してから(目安10分以上)、ご使用ください。

※各部が熱いうちに水を入れたり、動かしたりしないでください。熱湯や蒸気が出るおそれがあります。

#### ミネラルウォーター使用時のお願い

- 硬度200m/L以上のものは使用しないでください。製品内部の水管に湯アカ(ミネラル分)が付着して、抽出時間が長くなったり、最後までドリップできなくなる場合があります。

- できるだけ硬度120m/L以下のものを使用してください。

- 使用中に抽出時間が長く感じられたら、クエン酸洗浄を行ってください。(P7参照)

## お手入れのしかた

安全のため、電源プラグを抜き本体・周辺が冷めてから行ってください。

各部のお手入れの際、金属製・ナイロン製のたわしや、みがき粉、ベンジン、シンナー、漂白剤などを使用しないでください。

### 本体外側のお手入れ



- ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんなどを固く絞り汚れを拭き取ります。
- その後、水分を完全に拭き取ります。



●本体を水に浸けることは絶対におやめください。故障の原因になります。

### ガラスポット、ドリップバスケット・プラスチックフィルター、計量スプーンのお手入れ

- 台所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯で、やわらかいスポンジを使用して洗ってください。
- その後、乾いた布で拭き取り、乾燥させてください。



- ガラスポットは熱いうちに水に入れないでください。急激に冷やすと破損の原因になります。
- 破損したプラスチックフィルターは使用しないでください。破損や紛失した場合は弊社お客様相談室までご相談ください。

### お湯の出具合が悪くなったとき(クエン酸洗浄)

クエン酸を使ってミネラル成分を取り除きます。コーヒーメーカーをお使いいただいているうちに、水の中に含まれるカルシウムなどのミネラル成分が、製品内部に付着します。ミネラル成分が付着してくると、お湯の出具合が悪くなったり、コーヒーの抽出量が少なくなったりします。

①ぬるま湯を水タンク目盛り5まで入れ、その中にクエン酸(10g程度)を入れて、かき混ぜます。

②ガラスポットを保温プレートにセットし、電源スイッチを「入」にする。

③抽出されたクエン酸溶液を捨て、各部が冷めてから、水だけで2~3回運転する。

※クエン酸は柑橘類などに多く含まれているもので、食品添加物でもありますので食品衛生上は無害です。

### 電源コード・電源プラグのお手入れ

- 乾いた柔らかい布などで拭き取ります。

### 収納する

- 直射日光を避け、湿気が少ない場所に保管してください。  
※本体をお手入れしてからポリ袋などに入れ、お買い上げ時の箱に収納します。

### 故障かなと思ったら

#### 症 状

#### 原 因

#### 対 策

抽出されない。	<ul style="list-style-type: none"><li>●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていない。</li><li>●電源が切れている。</li><li>●水タンクに水が入っていない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◎電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。</li><li>◎電源スイッチを「入」にしてください。</li><li>◎水タンクに水を入れてください。</li></ul>
---------	--	---

コーヒーがあふれる。	<ul style="list-style-type: none"><li>●フィルターが正しくセットされていない。</li><li>●ガラスポットが正しくセットされていない。</li><li>●コーヒー粉を入れすぎている。</li><li>●水タンクに水を入れすぎている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◎フィルターを正しくセットしてください。</li><li>◎ガラスポットを正しくセットしてください。</li><li>◎コーヒー粉の量を正しく入れてください。</li><li>◎水タンクに入れる水の量を目盛りに合わせてください。</li></ul>
------------	---	--

保温温度が低い。	●ガラスポットが保温プレートの上に正しくセットされていない。	◎ガラスポットを保温プレートに正しくセットしてください。
抽出に時間がかかるようになった。	●ミネラル成分が付着している。	◎ミネラル成分を除去してください。(クエン酸洗浄)

上記の点検または処置をしても異常が直らなかったり、原因がわからないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターへご連絡ください。

## 仕様

商 品 名	コーヒーメーカー
定 格 電 圧	AC100V 50/60Hz
定 格 消 費 電 力	600W
本 体 尺 法	(約)幅150×高さ263×奥行215mm
最 大 容 量	0.75L
質 量	約840g
コ 一 ド 長	約0.7m

※製品改良のため、予告なく仕様変更する場合があります。

※型番、品番は器具本体に貼ってあるラベルをご参照ください。